

第1回 福岡・前原・那珂圏域流域治水協議会 ・ 第1回 北九州・宗像圏域流域治水協議会
合同協議会 議事概要

実施日:令和3年5月28日(金)10:00~11:00

場所 :福岡県庁行政特9会議室 及び Web 会議(「Webex」を利用)

出席者:別紙の通り

議事 :(1)協議会設立について

- 1) 協議会設立趣旨(案)について
- 2) 協議会設立の背景について
- 3) 流域治水について

(2)協議会規約(案)について

(3)今後のスケジュール(案)について

議事概要:

(1)協議会設立について

- 1) 協議会設立趣旨(案)について

設立趣旨(案)について事務局より説明し、了承が得られた。

- 2)協議会設立の背景について

近年、全国各地で自然災害が頻発し、県内においても平成29年から4年連続で大雨特別警報が発表され、毎年のように観測史上最大や記録的豪雨により各地で浸水被害が発生していること、また、国土交通省の諮問機関である社会資本整備審議会により、令和2年7月に「気象変動を踏まえた水災害対策のあり方について」の答申がとりまとめられ、流域全体で治水対策を行う「流域治水」への転換が示されていることを事務局より説明した。

- 2) 流域治水について

流域治水の基本的な考え方や対策例について事務局より説明した。

流域治水プロジェクトの概要や一級水系のプロジェクトの事例について事務局より説明した。

(2)協議会規約(案)について

協議会規約(案)について事務局より説明し、了承が得られた。

(3)今後のスケジュール(案)について

今後のスケジュール(案)について事務局より説明した。

出席者からの流域治水に関する主な意見について

福津市 原崎市長

- ・市内は宅地開発が進み、また、海に近く潮位の影響を受けやすいことから、増大する雨水流出への対応は重要課題。
- ・市の取組みとして、宅地開発の際に雨水貯留施設の整備を開発者に求めたり、利用頻度が低下したため池の管理権限を水利権者から譲り受け、低水位管理の試みを始めるなどしている。
- ・今後、民間への働きかけの根拠となるルール作りや、この取組みに対する国県による財政的な援助もお願いしていきたいと考えている。

須恵町 平松町長

- ・町は、須恵川の上流に位置しており、災害対応を考えるうえでは県ならびに下流の自治体を含め、広域的に連携し共通認識のもとで課題を解決していくことが必要。そのため、本協議会の充実を図っていきたい。

久山町 西村町長

- ・河川の土砂堆積への対応や、河川だけでなく、これまで議論が少なかったため池の流域治水に係る位置づけ、国の予算補助への働きかけ、改修方法などについても本協議会において議論したい。

岡垣町 門司町長

- ・近年、想定以上の雨量や、流域の宅地化に伴い河川への流入量が増え、増水のスピードが速くなっているように感じている。
- ・そのため、町も関係機関と連携しながら、事前防災と減災の取組みをしっかりと進める必要がある。
- ・町を流れる二級河川の矢矧川と汐入川の流域は、県の支援を得ながら氾濫や被害をできるだけ抑制するためのハード対策を進める必要があるが、町においては、立地適正化計画における洪水対策や安全確保対策を防災指針として位置付けることの検討、防災マップの周知を通じた住民の防災意識の向上などのソフト対策を中心に取組みを進めている。

福岡市道路下水道局 名古屋局長

- ・近年、水害が激甚化・頻発化しているなか、ハード対策だけの対応には限界があり、改めて、ソフト対策も合わせた総合的な対策の必要性を実感している。
- ・市では、大規模な渇水の経験がある。渇水は浸水とは真逆ではあるが、水循環の

視点では共通しているところも多いと思っている。その湧水の経験から、平成18年に「福岡市水循環型都市づくり基本構想」を策定し、市庁舎や公民館への雨水貯留槽の設置、歩道や公園への透水性舗装等、総合的な施策を実施しているため、今後、幹事会等で事例紹介させていただきたい。

・市では、農業用ため池を治水池に転換する事例も出てきているが、関係者との調整等、課題があるので、今後、ため池の具体的な活用方法など、幹事会で意見交換ができればと考えている。

